

2015年7月31日


2017年経営目標達成に向けた進捗状況

AGC 旭硝子株式会社

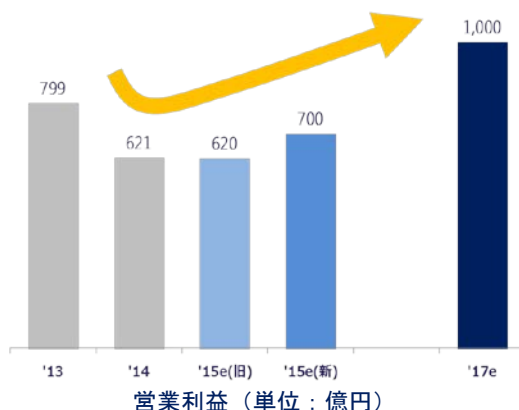
AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、経営方針 *AGC plus* にて掲げる2017年経営目標達成に向けた各事業戦略の進捗を以下の通りお知らせします。

1. 2017年経営目標

AGCグループは、経営方針に則った事業運営により、2017年の経営財務目標等を以下の通り設定しています。その達成のため2015年～2017年の3カ年を対象期間とする諸施策を中期経営計画“AGC plus-2017”として実行中です。

方針		 <p>私たちAGCグループは、 ・世の中に「安心・安全・快適」を ・お客様・お取引先様に 「新たな価値・機能」と「信頼」を ・従業員に「働く喜び」を ・投資家に「企業価値」を プラスする。</p>	
		目標 (17年度)	
	売上高	1兆6,000億円	
	営業利益	1,000億円 以上	
	ROE	5%以上	
	D/E	0.5 以下	

7月21日の発表において、2015年通期の業績見通しを上方修正いたしました。その結果、営業利益は前期比13%増の700億円となる見込みです。今期は減益に終止符を打ち、2017年には営業利益1,000億円以上の達成を目指します。



2. 事業ポートフォリオにもとづいた各事業戦略の進捗状況

経営方針 *AGC plus* では、各事業の収益性と成長性を基軸とした事業ポートフォリオにもとづき、経営資源の配分方針と戦略の方向性を明確化しています。各領域における進捗状況は以下の通りです。

	成長	キャッシュ創出	体質強化
ガラス	・自動車用ガラス	・建築用ガラス (新興国)	・建築用ガラス (先進国)
電子	・電子部材 ・化学強化ガラス ・超薄板ガラス	・液晶用ガラス	・PDP用ガラス ・特殊ガラス
化学品	・クロールアルカリ (海外) ・フッ素 ・ライフサイエンス		・クロールアルカリ (国内)

ガラス事業;

<成長>

- ・自動車用ガラスの中国第3工場がスタート（2015年1Q）。段階的に中国全体の生産能力を360万台/年に引き上げる。
- ・メキシコの自動車用ガラス工場が生産開始（2015年3Q予定）。段階的に75万台/年体制に。
- ・ポーランドの自動車用補修ガラス事業会社 NordGlass 社（年間売上高100億円）を買収（2015年4Q以降に連結予定）。

<体質強化>

- ・欧州の建築用ガラスについて、大規模な構造改革は2014年末でほぼ終了。今後は加工・物流などの合理化に取り組む。
 - －オランダ加工ガラス工場・物流拠点合理化（2015年4Q頃）
 - －ベルギー合わせガラス工場閉鎖（2016年1Q頃）
- ・引き続き必要な構造改革を実施するとともに、高機能・高付加価値品の拡販に注力

電子事業;

<成長>

- ・導光板事業に参入し、ディスプレイ関連製品のラインナップを拡充。

<キャッシュ創出>

- ・中国での液晶用ガラス窯投資にあたり、国内既存設備を活用し、投資額を抑制（2016年末～17年初めに生産開始予定）。

<体質強化>

- ・PDP関連事業終了に伴い韓国子会社にて構造改革を実施。
- ・工業用ガラス部品やプロジェクター部品など、特殊ガラスの一部不採算事業の構造改革を実施。
- ・上記施策の合計のコスト削減効果は約25億円/年。

化学品事業;

<成長>

- ・ベトナムの塩ビ樹脂生産能力を50%増強（2016年1Q生産開始予定）。
- ・インドネシアのクロールアルカリ製品の生産能力を増強（2015年末完工予定。苛性ソーダ：40%増、塩ビ樹脂：ほぼ倍増）。
- ・インドネシアに自家発電を設置し（2017年末運転開始予定）、東南アジア地域No.1の地位を確固たるものに。
- ・環境対応型自動車用冷媒 HF0-123yf の新プラントが千葉工場にて生産開始（2015年2Q）。

なお、AGCグループの中長期戦略を策定中であり、2016年2月に発表予定です。

AGCグループは、経営方針 *AGCplus* のもと、全てのステークホルダーに価値をプラスすることにより、業績の回復と持続的な成長を目指します。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先:

AGC 旭硝子(株)広報・IR室長 小林 純一

(担当:玉城 TEL: 03-3218-5603、E-mail: info-pr@agc.com)



ミラノ万博日本館に協賛しています。